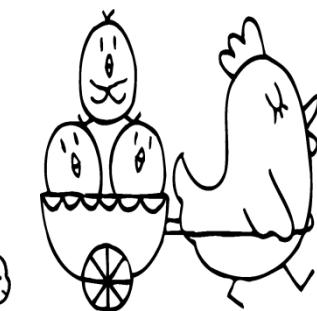


ひよこだより

草笛学園 2025年度 最終号



今年度最後のひよこ教室です

4月から始まったひよこ教室もいよいよ最後を迎えようとしています。最初は、参加者が少なくてほぼ職員とマンツーマンの状態でスタートしましたが、夏のプールの時期には、お友だちも増え、その分大人の方も増え、にぎやかな教室となりました。先に参加されていた方が、安心してあそぶ姿が良いモデルになり、途中から参加された子も「ボクも、私も」と気持ちを向けてくれました。過ごしやすくなった秋口は、園庭で外あそびを、道端にどんぐりが見られるようになった頃からは、近くのこぶしグランドへのさんぽを楽しみました。ハロウィーンの時期には、変った妖精?があらわれ、お菓子もいただきました。それまで元気いっぱいだった子が、怪しむように見て、差し出されたお菓子をためらいながらも受け取っていました。クリスマスの時期には、♪あわてんぼうのサンタクロース♪の曲につられて、サンタクロースも来てしまいましたね

経験回数を重ねることで、こどもたちの表情や行動が変わってきており、それを保護者の方と共有することがとてもうれしかったです。

さて、来年度はみなさん、どうされますか?ひよこ教室を出て、選んだ先、新しい環境が待っています。でも、しんどいな、困ったなというときには、遠慮なく草笛までご連絡いただければと思います。一緒に考えさせていただくのは引き続きです。

ひよこ教室をまた思い出してください。



～ さいごに、支えてくださった保護者のみなさまへ ～

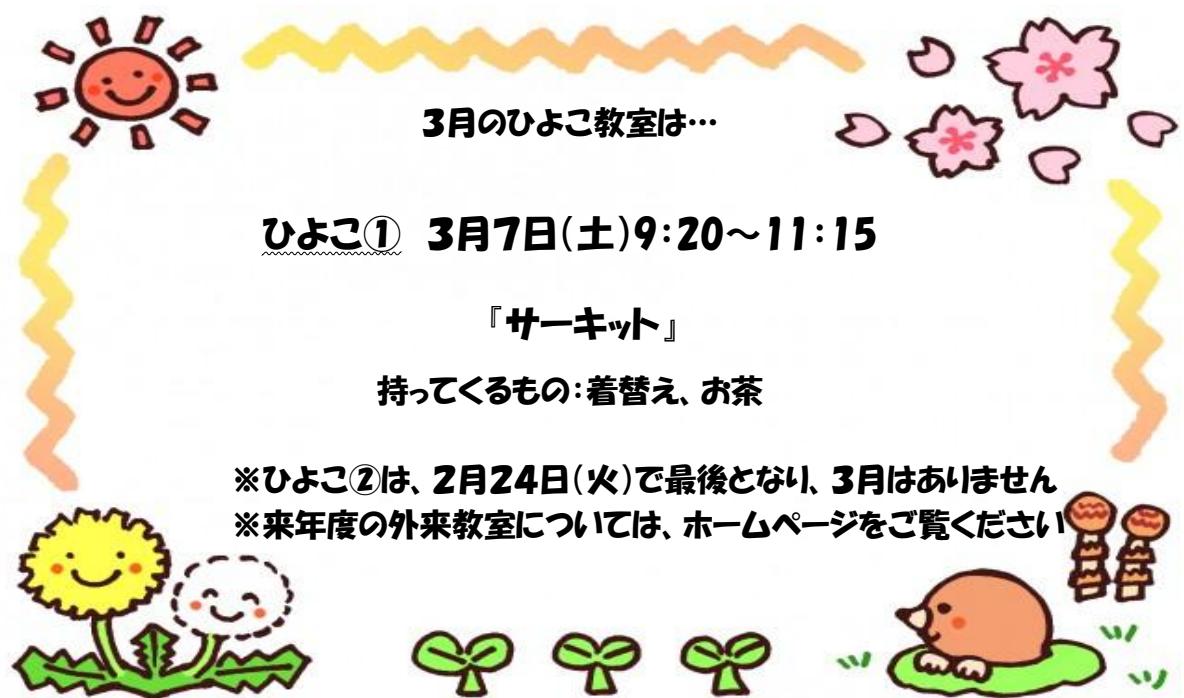
◆大切に思う気持ちをことばにして

子どもの成長に合わせて、親も成長し、強くたくましくなれることがあるし、子どもが大きくなればなるほど親の負担も重くなり、疲れてガソリン切れになったりすることもあります。子どもが大切にされるには、まずおとなが大切にされること。家で子どもの世話をしている

ことが多いのは、だれか(現実には母親がそのすべてを引き受けていることが多いでしょう)が、家族から、そして社会から大切にされているならば、困難なことも乗り越えられます。

お父さんをはじめ、おばあちゃんやおじいちゃんに、おねがいしたいことがあります。子どもの世話を一手に引き受けてがんばっている人が、「自分が大切にされている」と実感できる「ひとこと」を掛けてほしいのです。これさえあれば、今日一日、そしてその先も。心を元気にして子どもに向き合うことができます。

『安心子育てブック』池添 素 著



3月のひよこ教室は…

ひよこ① 3月7日(土)9:20~11:15

『サーキット』

持ってくるもの:着替え、お茶

※ひよこ②は、2月24日(火)で最後となり、3月はありません

※来年度の外來教室については、ホームページをご覧ください

参加される皆様へ ～最後のご協力をお願いします～

- ・お休みをされる場合は、学園までご連絡ください
- ・参加費は無料です。(おたよりがホームページに掲載され、通信費が必要ないため)製作やクッキングの活動の時には材料費として100円いただきます。その都度連絡します
- ・水分補給のため、お茶を用意してください(ジュース類は控えてください)
- ・きょうだい児の参加はご遠慮ください。預け先がない場合は事前に職員までご相談ください
- ・トラブルによるケガ防止のため、参加前に必ず爪を切ってきてください